

フロッピーコピア(LMC-35A)用  
I Cカード(IBM全銀・DOSコンバート)

# **LMIC-130A**

使用説明書

#### ご注意

- 1 . 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 2 . 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 3 . 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一御不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、当社または最寄りの販売店へご連絡ください。
- 4 . 本製品は、十分な注意のもとに、放出電波が最小になるよう設計してありますが、電波や電磁波に敏感な機器には、近くにあると、影響を与えることがあります。
- 5 . 運用した結果の影響（データの保証など）に関しては、前項に関わらず、責任を負いかねますのでご了承ください。

・本使用説明書に記載されている“会社名”“製品名”は、各メーカーの登録商標です。

LMC - 35A用ICカード  
<LMIC - 130A> 使用説明書

---

平成9年 6月 初版 発行

平成9年 12月 3版 発行

発行所：株式会社 **ランドコンピュータ**

Printed In Japan

サポート部 (0120) 161639 (フリーダイヤル)

URL : <http://www.landcomp.co.jp>

E-mail Address : [support@landcomp.co.jp](mailto:support@landcomp.co.jp)

<本社> 〒532 大阪市淀川区西中島7-4-17 新大阪上野東洋ビル  
TEL 06(304)8424 (営業部代表) FAX 06(307)2121

<東京営業所> 〒113 東京都文京区本郷2-25-2 ケニスビル  
TEL 03(3816)2671 (代表) FAX 03(3816)2672

<熊本テクニカルセンター>  
〒861-22 熊本県上益城郡益城町田原  
テクノリサーチパーク内  
TEL 096(286)9341 (代表) FAX 096(286)9342

# パッケージ内容のチェック

---

パッケージの内容をチェックしてください。万一、不足のものがありましたら、お手数ですが、購入された販売店、或いは当社サポート部までご連絡ください。

## パッケージ内容

型 式	数 量	内 容
LMIC - 130A	1	ICカード (IBM 全銀・DOS コンバート用)
	1	LMIC - 130A 使用説明書

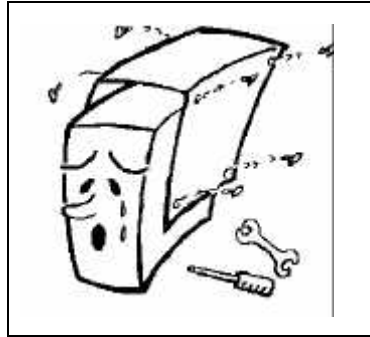
## 注 意 事 項

使用環境は、指定の範囲で・・・。

- ・濡らさない様にご注意を。
- ・直射日光を避けること。
- ・振動やショックは避けること。

分解しないでください。

- ・みだりに機器を分解しますと不具合の原因となるだけでなく危険を伴います。
- ・このような原因による故障に関しては、保証期間中でも有償修理とさせていただきます。



## 輸送上の注意

- ・再度輸送される場合は必ず購入時のパッケージを使って梱包してください。
- ・本機は精密機械です。輸送中にショックがかからないようご注意ください。

# サポート体制と修理サービス

ランドコンピュータでは、お客様に当社製品を安心してご使用していただくために、サポート体制の充実を図っております。  
製品の接続や操作方法についてのご質問や、万一、製品が正常に作動しない場合は、下記のサポート部までお問い合わせください。

サポート部へのお問い合わせは

フリーダイヤル：着信払（土曜日も受け付けます）

0 1 2 0 - 1 6 1 6 3 9

受付時間： 9：00～12：00  
13：00～17：30（日曜・祝日を除く）

F A X：

0 6 ( 3 0 7 ) 2 1 2 1

受付時間：24時間

特に技術的な内容等で電話では説明しにくい場合や機器が正常に動作しないと思われる場合、あるいは受付時間外等には、F A Xで詳細をお知らせくださいますようお願いいたします。  
また、F A X以外に、電子メールでのご質問もお受けしております。

URL <http://www.landcomp.co.jp>

E-mail [support@landcomp.co.jp](mailto:support@landcomp.co.jp)

当社に修理サービスをご依頼の際のお願い  
まず、上記サポート部にご連絡ください。担当者より、修理受付番号と修理品返送先を記載した「修理受付連絡書」をF A Xでお知らせいたします。ご返送いただく製品の外箱に「修理受付番号」及び「修理品」と明記の上、保証書を添付して修理品返送先にご返送ください。  
修理受付番号のないものは処理しかねる場合もございますので、ご了承ください。

株式会社 **ランドコンピュータ**

# 目次

## パッケージ内容のチェック

### 注意事項

1章 製品の概要.....	1
1 - 1 製品の概要.....	1
1 - 1 - 1 概要.....	1
1 - 1 - 2 機能.....	2
第2章 操作方法.....	4
2 - 1 電源の“ ON ” .....	4
2 - 2 メイン画面.....	4
2 - 3 コピーの方法 .....	6
2 - 3 - 1 ディスクをセットしたら .....	6
2 - 3 - 2 コピー中の表示 .....	8
2 - 3 - 3 コピー終了.....	9
2 - 3 - 4 エラーが発生した場合 .....	10
2 - 4 設定モード.....	11
2 - 4 - 1 外付け8インチドライブの使用.....	12
2 - 4 - 2 内蔵ブザーの設定.....	13
2 - 4 - 3 コンバートモード設定 .....	13
2 - 4 - 4 コード変換設定 .....	17
2 - 5 - 5 ヘッダー付加.....	17
2 - 6 ラベル情報ヘッダー .....	18
第三章 エラーメッセージ一覧.....	20
3 - 1 外付けドライブの設定が間違っているとき.....	20
3 - 2 コピー時に発生するエラー .....	21
3 - 2 - 1 リードエラー .....	21
3 - 2 - 2 ライトエラー .....	21
3 - 2 - 3 フォーマットエラー .....	22
3 - 2 - 4 コピー元ディスクエラー .....	22
3 - 2 - 5 コピー先の空き容量が無くなった場合 .....	23
3 - 2 - 6 ICカード ライトプロテクトエラー .....	23
第4章 電池交換 .....	24
4 - 1 内蔵電池について.....	24
4 - 2 電池交換の方法 .....	24



# 1 章 製品の概要

---

## 1 - 1 製品の概要

### 1 - 1 - 1 概要

《LMC - 35A》(フロッピーコピー)に、《LMIC - 130A》(以降“本製品”と表記します。)を装着することによって以下の機能が使用可能になります。

- 1 . IBM 全銀 から DOS への コピーが可能。  
(IBM 全銀 DOS)
- 2 . DOS から IBM 全銀 への コピーが可能。  
(DOS IBM 全銀)
- 3 . IBM 標準から IBMET/ES への コピー(変換)が可能。  
(IBM 全銀 IBM 全銀)
- 4 . IBM ET/ES から IBM 標準への コピー(変換)が可能。  
(IBM 全銀 IBM 全銀)
- 5 . 必要に応じて、EBCDIC、JIS 間のコード変換が可能。

注意...本製品でコンバートが行えるのは英数字とカナのみです。

#### 制限事項

コピー可能なファイル数(データセット数)は1ディスクに1個です。  
コピー元のフロッピーディスクには1ファイル(1データセット)のみを入れるようにしてください。

マルチボリュームファイルには対応しておりません。

## 1 - 1 - 2 機能

本製品を用いて、以下の手順に沿ってご使用いただくことにより、次のような組み合わせでの、ファイルコンバートが可能となります。

### ファイルコンバートモードの組み合わせ

コピー元	コピー先	コピー先フォーマット	その他設定
IBM 全銀 フォーマット	MS - DOS	2 DD : 640 KB 2 DD : 720 KB 2 HD : 1.2 MB 2 HC : 1.22 MB 2 HD : 1.44 MB	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ヘッダ付加ありなし</li> <li>● CR / LF 付ける付けない</li> </ul>
MS - DOS	IBM 全銀 フォーマット	IBM 標準 1 S 2 D : 26 セクタ 2 D : 15 セクタ 2 D : 8 セクタ IBM ET/ES 2 D : 26 セクタ 2 D : 15 セクタ 2 D : 8 セクタ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コード変換するしない</li> </ul>

IBM 全銀標準と IBM 全銀 ET/ES 間の変換も行えます。

2 DD : 640 KB	= 512 バイト / 8 セクタ
2 DD : 720 KB	= 512 バイト / 9 セクタ
2 HD : 1.2 MB	= 1024 バイト / 8 セクタ
2 HC : 1.22 MB	= 512 バイト / 15 セクタ
2 HD : 1.44 MB	= 512 バイト / 18 セクタ

本製品上の、IBM 標準と IBM ET/ES の違いについて。

この二つのフォーマットは基本的には同じものですが、違いとしては 3.5 インチと 5 インチのディスクにおける、最初のトラック (0 トラック) の密度の違いです。

IBM 標準は 0 トラック目が単密で、ET/ES は 0 トラック目が倍密です。

つまり IBM 標準と ET/ES 間のコンバートは、この 0トラック目を書き換える  
ものです。

ET/ES は IBM が採用

デフォルトのレコード長について。

本製品のデフォルトの設定で、コンバートできるレコード長は 2 5 6 バイトま  
です。

それ以上のレコードをコンバートされる方は、本マニュアル「2 - 6 ラベル  
情報ヘッダー」の項を参照してラベル情報ヘッダーをファイルに付けてくださ  
い。

変更項目は、「データセットラベル」の 2 3 ~ 2 7 カラム目の「ブロック長」と  
5 4 ~ 5 7 カラム目の「レコードの長さ」です。これらには通常同じ数字を入  
力してください。入力する数値は 1 0 進数です。

## 第 2 章 操作方法

---

### 2 - 1 電源の“ ON ”

《 L M C - 3 5 A 》のメイン電源を入れて本カードをセットすれば、電源が“ ON ”になり使用可能になります。

(《 L M C - 3 5 A 》マニュアル 2-2 カードのセットの項参照)

電源ランプが点灯してカードの種別・カードのバージョンが約 2 秒表示されます。

バージョンの表示 (約 2 秒表示)

LMIC-130A Ver 1.0 OK
-------------------------

その後メイン画面に切り替わります。

### 2 - 2 メイン画面

メイン画面で「」ボタンを同時に押すことによって設定モードに入ります。ディスクがセットされていないときは、次のように表示されます。

Aドライブ Bドライブ DISK セット済か? サイ
-------------------------------

コピー元ドライブ (Aドライブ) コピー先ドライブ (Bドライブ) に 1 枚づつディスクをセットしてください。

このときコピー元ディスクには、ライトプロテクトをしてください。コピー先ディスクには、ライトプロテクトをしないでください。

ライトプロテクトについては、LMC 本体の説明書の A P P E N D I X をご覧ください。

正しくディスクがセットされると次のような表示になります。

(例)

d3.5" s3.5"D26 北°-キ-テ° スタートC
---------------------------------

このように「北°-キ-テ° スタート」と表示されたらコピーが可能ですので、「2 - 3 コピーの方法」へ進んでください。

ディスクのセットの方法が間違っている場合、次のように表示されます。

Aドライブ Bドライブ DISKが フォク アリス
------------------------------

コピー元もしくはコピー先ドライブにディスクが複数入っています。  
ディスク正しくをセットしてください。

コピー元ディスクには、ライトプロテクトをしてください。

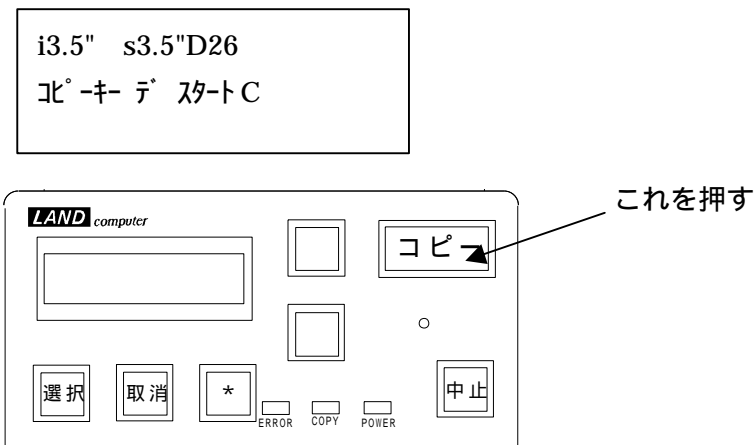
コピー先ディスクには、ライトプロテクトをしないでください。

## 2 - 3 コピーの方法

### 2 - 3 - 1 ディスクをセットしたら

ディスクを正しくセットした後、「北°-キ-テ° スタート」と表示されている状態で「コピー」ボタンを押すとコピーを開始します。

(例)



#### \* 表示の見方

(ディスク種類 1)(ドライブ名) (ディスク種類 2)(ドライブ名)(フォーマット)  
北°-キ-テ° スタート(コンバートモード) (ヘッダ)

(ディスク種類 1)          IBM 全銀      =    i  
                                DOS                =    d

(ディスク種類 2)      IBM 標準 全銀    =    s  
                                ET/ES 全銀      =    e  
                                DOS                =    d

(ドライブ名)            3 . 5 インチ = 3.5"  
                                5 インチ = 5"  
                                8 インチ = 8"

(フォーマット)

IBM 全銀

& ET/ES	1 S	= 1S
	2 D : 2 6 セクタ	= D26
	2 D : 1 5 セクタ	= D15
	2 D : 8 セクタ	= D8

DOS

2 D D : 6 4 0 K B	= 640
2 D D : 7 2 0 K B	= 720
2 H D : 1 . 2 M B	= 1.2
2 H C : 1 . 2 2 M B	= 1.22
2 H D : 1 . 4 4 M B	= 1.44

(コンバートモード)

コード変換を行う	= C
コード変換を行わない	= N

(ヘッダ) IBM 全銀 DOSの時のみ

ヘッダを付加する	= H
ヘッダを付加しない	= (表示なし)

コピーボタンを押したときにライトプロテクトが間違っていると以下のように表示されます。

Aドライブエラー  
ライトプロテクトアライメント

この場合もう一度コピーボタンを押すと、コピーがおこなわれます。

Bドライブエラー  
ライトプロテクトエラー

コピー先にライトプロテクトがされている場合、コピーをおこないません。  
ディスクをよく確かめてセットし直してください。

## 2 - 3 - 2 コピー中の表示

コピー中の画面表示は

(例)

d3.5" s3.5"D26 DATA.DAT OK
-------------------------------

コピー中の画面の見方

(ディスク種類)(ドライブ名) (ディスク種類)(ドライブ名)(フォーマット) (ファイル名) (ステータス)
--

(ディスク種類)	IBM 全銀標準	=	s
	IBM 全銀 ET/ES	=	e
	DOS	=	d

(ドライブ名)	3 . 5 インチ = 3.5"
	5 インチ = 5"
	8 インチ = 8"

(フォーマット)

IBM 全銀

&ET/ES	1 S	=	1S
	2 D : 2 6 セクタ	=	D26
	2 D : 1 5 セクタ	=	D15
	2 D : 8 セクタ	=	D8

DOS

2 D D : 6 4 0 K B	=	640
2 D D : 7 2 0 K B	=	720
2 H D : 1 . 2 M B	=	1.2
2 H C : 1 . 2 2 M B	=	1.22
2 H D : 1 . 4 4 M B	=	1.44



(ファイル名)

ここでは、現在コピーしているファイルの名前が表示されます。

(ステータス)

ここでは表示されているファイルのコピー状態を表示されます。

問題なし=OK

エラー発生=ER

## 2 - 3 - 3 コピー終了

コピーが終了すると次のようなメッセージが表示されます。

(例)

北° - シュウリョウ OK
-------------------

メッセージの見方

北° - シュウリョウ (コピーの可否)
-------------------------

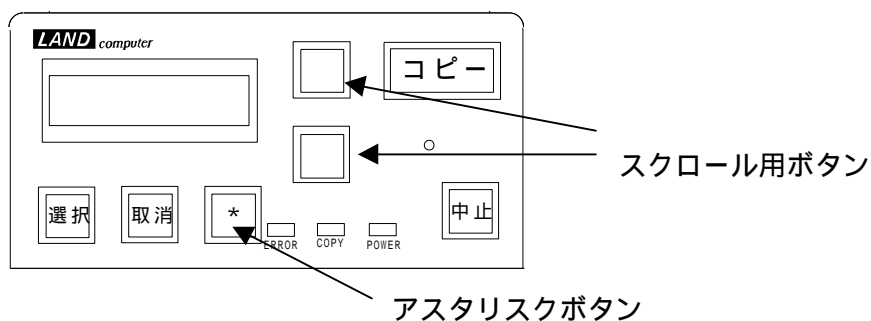
(コピーの可否)

問題なし           = O K

エラー発生         = E R R O R

## 2 - 3 - 4 エラーが発生した場合

コピー終了後エラーが発生している場合、アスタリスクボタンを押すとエラーメッセージが表示されます



エラーメッセージは、どのようなエラーが発生したかを示すメッセージと、どこでエラーが発生したかを示すメッセージがあります。

複数エラーがある場合は、「」「」ボタンでスクロールさせてご覧ください。

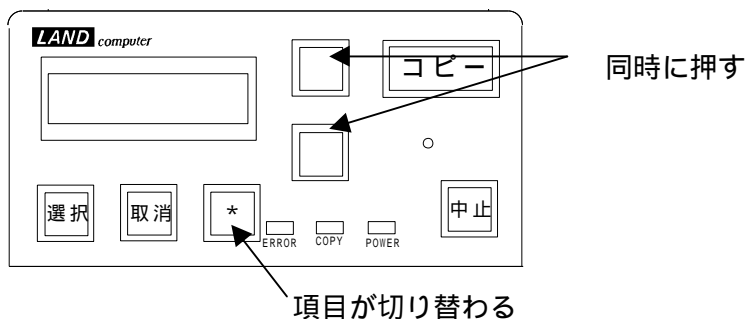
エラーの詳細と対処方法は、本説明書の「第三章 エラーメッセージ一覧」を参照してください。

## 2 - 4 設定モード

このモードにはメイン画面で「          」ボタンを同時に押すことによって入ります。

設定モードでは、アスタリスクボタンを押すことによって設定項目が切り替わります。

必要な項目になるまで、必要なだけアスタリスクボタンを押して切り替えてください。



全ての設定が終わり、内容を記録するには「選択」ボタンを押します。  
記録せずに終了するには、「取消」ボタンを押します。

## 2 - 4 - 1 外付け 8 インチドライブの使用

設定モードでアスタリスクボタンを押して、以下の項目を表示してください。

8"ドライブ ショートカット YES
-----------------------

この画面で「」「」ボタンを押すと、2行目が「YES」「NO」と切り替わります。設定できましたらアスタリスクボタンを押してください

「NO」の場合次の設定項目に移ります。

「YES」の場合 8 インチドライブを、コピー元として使用するか、コピー先として使用するかの選択画面になります。

ドライブ コピー先 A
----------------

この画面で「」「」ボタンを押すと、2行目が「A」「B」と切り替わります。

コピー元として使用する場合「A」

コピー先として使用する場合「B」を選択してください。

## 2 - 4 - 2 内蔵ブザーの設定

LMCにはエラーなどを知らせるブザーが内蔵しています。これを使用するかしないかを設定します。

\*ブザーを使用しないに設定しても、起動時のブザー音は鳴ります。

ブザー ヲ ショウマスカ YES
---------------------

この画面で「」「」ボタンを押すと、2行目が「YES」「NO」と切り替わります。

「YES」でブザーが鳴り、「NO」でブザーは鳴りません。

## 2 - 4 - 3 コンバートモード設定

どのフォーマットからどのフォーマットにコンバートするかを設定します。

コンバート セッテイ (モード)
---------------------

この画面で「」「」ボタンを押すと、2行目が切り替わります。

(モード)	DOS から IBM 全銀へ	=	DOS IBM
	IBM 全銀から DOS へ	=	IBM DOS
	IBM 全銀から IBM 全銀へ	=	IBM IBM

IBM 全銀 IBM 全銀の変換は IBM 標準と ET/ES の変換です。  
設定できたらアスタリスクボタンを押してください。

コピー先ディスクの設定として「IBM」「DOS」のどちらを選んだかによって、次に出てくるサブメニューが変わります。

## コピー先ディスクが「IBM」の場合

### コピー先フォーマット指定

フォーマット ｼﾞｲ  
(フォーマット)

この画面で「」「」ボタンを押すと、2行目が切り替わります。

1S

2D 26 ｷﾞﾀ

2D 15 ｷﾞﾀ

2D 8 ｷﾞﾀ

設定できたらアスタリスクボタンを押してください。

### 0トラック目の密度指定

IBM 標準か ET/ES かの設定を行います

0トラック ノミツ  
(密度指定)

この画面で「」「」ボタンを押すと、2行目が切り替わります。

(密度指定) 8 インチは単密・3.5 と 5 インチは倍密 = 8"ノミツ 5"ノミツ

単密に設定 (IBM 標準) = ノミツ (IBM)

倍密に設定 (ET/ES) = ノミツ (ET/ES)

## コピー先ディスクが「DOS」の場合

### コピー先フォーマット指定

フォーマット ステイ  
(フォーマット)

この画面で「」「」ボタンを押すと、2行目が切り替わります。

MS-DOS 2DD 640K

MS-DOS 2DD 720K

MS-DOS 2HD 1.2M

MS-DOS 2HC 1.22M

MS-DOS 2HD 1.44M

### CR / LF 付加の設定

IBM 全銀から DOS にコンバートしたときレコードの最後に CR / LF を付けるかどうかの設定をします。

CR/LF  
ツクル

この画面で「」「」ボタンを押すと、2行目が「ツクル」「ツクナイ」と切り替わります。

CR / LF を付ける            =            ツクル

CR / LF を付けない        =            ツクナイ

設定できたらアスタリスクボタンを押してください。

## 終了コード『コントロール Z (^Z)』付加の設定

IBM 全銀から DOS にコンバートしたときファイルの最後に終了コードを付けるかどうかの設定をします。

コード	^Z
ツクル	

この画面で「」「」ボタンを押すと、2行目が「ツクル」「ツクナイ」と切り替わります。

終了コードを付ける	=	<input type="checkbox"/>
終了コードを付けない	=	<input type="checkbox"/>

設定できたらアスタリスクボタンを押してください。





#### 2 - 4 - 4 コード変換設定

JIS コードと EBCDIC コードを変換するかどうかの設定を行います。

注意...本製品でコンバートが行えるのは英数字とカナのみです。

コード へんか ON
---------------

この画面で「」「」ボタンを押すと、2行目が切り替わります。

コード変換を行う = ON



コード変換を行わない = OFF

設定できたらアスタリスクボタンを押してください。

#### 2 - 5 - 5 ヘッダー付加

IBM 全銀 ディスクのラベル情報を DOS ファイル内にヘッダー行として取り込むか否かを指定します。

ヘッダ 付加 ON
--------------

この画面で「」「」ボタンを押すと、2行目が切り替わります。

ヘッダーを付ける = ON

ヘッダーを付けない = OFF

設定できたらアスタリスクボタンを押してください。

アスタリスクボタンで、メニューが切り替わり「外付けドライブの設定」に戻ります。

決定終了するときには、設定ボタンを押してください。

## 2 - 6 ラベル情報ヘッダー

ラベル情報ヘッダーのフォーマット

DOS - > IBM 全銀 では DOS ファイル内に付加されたヘッダーで IBM 全銀ディスクのラベルをフレキシブルに設定できます。

また、IBM 全銀 - > DOS 時、“ヘッダーあり”が指定された場合に、コピー元の情報が DOS ファイルの先頭に入れられます。

書式

(ヘッダーの識別子),(トラック0の密度),

(ボリュームラベル),(データセットラベル)

ヘッダーの識別子 (12文字)

LANDLMCIBM00 ... IBM 標準

LANDLMCIBM01 ... 全銀

トラック0の密度 (1文字)

S ... 単密

D ... 倍密

I ... 8 “ の場合単密 5 “ ・ 3 . 5 ” 倍密

ボリュームラベル (80文字)

カラム	項目	設定可否	デフォルト値
1 - 4	ボリュームラベル名	設定可	V O L 1
5 - 10	ボリューム識別フィールド	設定可	T E S T
11	ボリュームアクセス可否	設定可	スペース
12 - 37	予約	設定可	スペース
38 - 51	所有者識別	設定可	スペース
52 - 64	予約	設定可	スペース
65	ラベル拡張識別	設定可	スペース
66 - 71	予約	設定可	スペース
72	ボリューム面標識	L M C が予約	L M C が設定
73	エクステント編成標識	設定可	スペース
74	特別用件標識	設定可	スペース
75	予約	設定可	スペース
76	物理レコード長	L M C が予約	L M C が設定
77 - 78	物理レコード順序レコード	設定可	スペース
79	予約	設定可	スペース
80	ラベル標準バージョン	設定可	スペース

## データセットラベル

( 80文字 )

カラム	項目	設定可否	デフォルト値
1 - 4	ラベル識別名	L M C が予約	L M C が設定
5	予約	設定可	スペース
6 - 14	データセット識別名	設定可	DOS のファイル名
15 - 22	データセット識別名続き	設定可	スペース
23 - 27	ブロック長	設定可	256
28	レコード属性	設定可	スペース
29 - 33	B O E ( cchss ) 1	L M C が予約	L M C が設定
34	物理レコード長	L M C が予約	L M C が設定
35 - 39	E O E ( cchss ) 1	L M C が予約	L M C が設定
40	レコード/ブロック形式	設定可	スペース
41	パイパス標識	設定可	スペース
42	データセット機密保護	設定可	スペース
43	書き込み保護	設定可	スペース
44	交換タイプ標識	設定可	スペース
45	複数ボリューム標識	設定可	スペース
46 - 47	ボリューム順序番号	設定可	スペース
48 - 53	作成日 ( Y M M D D )	DOS ファイル日付	DOS ファイル日付
54 - 57	レコードの長さ	設定可	スペース
58 - 62	オフセット	設定可	スペース
63 - 66	予約	設定可	スペース
67 - 72	満了日	設定可	スペース
73	検査/複写標識	設定可	スペース
74	データセット編成	L M C が予約	L M C が設定
75 - 79	E O D	L M C が予約	L M C が設定
80	予約	設定可	スペース

1...(cchss)は(シリンダ ヘッド セクタ)です。

入力例

LANDLMCIBM01.D.VOL1ZENGIN.....HDR1.....

- 
- 4.データセットラベル(80文字)
  - 3.ボリュームラベル(80文字)
  - 2.トラック0の記録密度("S"or"D"or"I")
  - 1.ヘッダー識別子("IBM 全銀"or"全銀")

設定する必要がない項目には、「スペース」を入力してください。

## 第三章 エラーメッセージ一覧

---

この章では、本カードを使用中によく見られると思われる、エラーメッセージの解説をおこないます。

### 3 - 1 外付けドライブの設定が間違っているとき

8"ドライブ エラー  
チェック システム

#### 解説

外付けドライブに関して問題があります。

#### 原因

外付けドライブが、LMCに設定されている状態と異なるか、外付けドライブとの接続が正しくおこなわれていない。もしくは外付けドライブのDIPスイッチの設定があっているか、あるいは外付けドライブの電源が入っていません。

#### 対策

外付けドライブをつないでいる場合、電源が入っているか、DIPスイッチの設定は正しいか、もしくは接続が正しくおこなわれているか、コネクターなどを確かめてください。

外付け8"ドライブを使わないのに、このメッセージが表示される場合、この説明書の「2 - 4 - 1」外付け8インチドライブの使用」を参照して設定を「使用しない」に変更をおこなってください。

## 3 - 2 コピー時に発生するエラー

### 3 - 2 - 1 リードエラー

リード エラー  
(ファイル名)

#### 解説

このエラーは、コピー元ディスクのファイルを読み込み中にエラーが発生しました。

#### 原因

コピー元のディスクのファイルに異常があります。

#### 対策

コピー元ディスクを、正常なディスクに取り替えてください。

### 3 - 2 - 2 ライトエラー

ライトエラー  
(ファイル名)

#### 解説

このエラーは、コピー先ディスクに書き込み中にエラーが発生しました。

#### 原因

コピー先ディスクに異常があります。

#### 対策

コピー先のディスクを、新しいディスクに入れ替えてください。

### 3 - 2 - 3 フォーマットエラー

フォーマット  
できません

#### 解説

コピー先のディスクをフォーマットできませんでした。

#### 原因

コピー先のディスクに、異常があります。

#### 対策

コピー先のディスクを、取り替えてください。

### 3 - 2 - 4 コピー元ディスクエラー

Aドライブ  
ミイカノディスク

#### 解説

コピー元のディスクが読み込めませんでした。

#### 原因

コピー元のディスクが、未対応のフォーマットのディスクか、壊れている可能性があります。

#### 対策

コピー元ディスクを、正常なディスクに取り替えてください。

### 3 - 2 - 5 コピー先の空き容量が無くなった場合

アキヨリヨウ ガ アリマセ  
チュウシキ- テ シュウリヨウ

#### 解説

コピー先ディスクの空き容量が足りません。  
中止ボタンで中止します。

#### 原因

コピー先ディスクの空き容量が、コピーするファイルの大きさより小さくなりました。

#### 対策

コピー先のメディアを、より大容量のものに変更するか、レコード長の指定をなるべくソース側にあわせて容量の無駄が最小になるように設定する。もしくはコピー元のファイルのサイズを分割して小さくし、複数回に分けてコンバートしてください。

### 3 - 2 - 6 ICカード ライトプロテクトエラー

ライトプロテクトエラー

#### 解説

ICカードに書き込みができません。

#### 原因

ICカードにライトプロテクトがかけられています。  
ICカード内のメモリを常に使用しますので、常時書き込み可能にしてください。

#### 対策

ICカードには、ライトプロテクトをかけないでください。

## 第4章 電池交換

### 4 - 1 内蔵電池について

本製品内蔵の電池の予測寿命は約4年になっています。

ICカード用の電池の型番は、「BR2325」です。

電池の寿命が切れると、内容が消滅して使用不可能になりますので早めに交換してください。

不用意に電池を抜きますと内容が消滅して使用不可能になりますので注意してください。

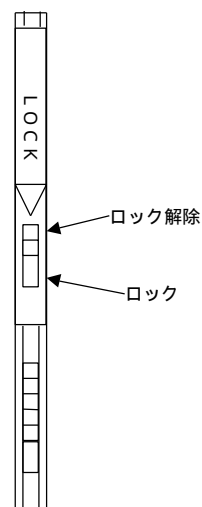
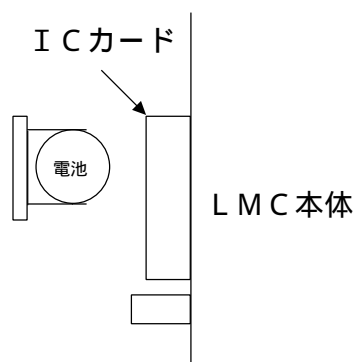
もし、あやまって内容が消滅した場合、サポート部までご相談ください。

弊社にて、内容の修復が出来ます。(有償)

### 4 - 2 電池交換の方法

ICカードの電池交換は説明をよくたしかめて慎重におこなってください。

- 1 ICカードをLMC本体にセットして電源を入れます。
- 2 ICカードの電池ケースのロックを解除します。
- 3 ICカードから電池ボックスを抜き取ります。
- 4 電池を交換します。
- 5 ICカードに新しい電池の入った電池ケースを入れます。
- 6 ICカードの電池ボックスをロックします。
- 7 交換は完了しました。カードを抜いてください。



注意... LMC本体にカードをセットして電源が入っている状態で電池交換をおこなわないと、内容が消滅して使用不可能になりますので注意してください。